

平成26年9月30日

国土政策局国土情報課

「G空間未来デザイン」

地域課題を解決するための地理空間オープンデータを用いたアイデアソン等の開催について

国土政策局では、地理空間情報（G空間情報 ※1参照）の活用推進に取り組んでいます。

この度、地域課題解決やまちの魅力向上に向けて、ICTを活用した新サービス・アプリケーションを開発するワークショップを開催します。専門家のサポート・協力のもと、多様な主体がG空間情報のオープンデータ等を活用したアイデアや技術を出し合い、社会性の高い課題にチャレンジします。

川崎市等と連携し、初回の上記ワークショップ（アイデアソン ※2参照）を10月27日（月）に川崎市宮前区役所にて開催致します。引き続き、ハッカソンおよびマーケソン（※2参照）は、12月、1月に開催予定です。

どなたでもご参加いただけますので（多数の場合は抽選）、ふるってご参加ください。

(1) プロジェクトの趣旨

「地理空間オープンデータを活用して未来社会をデザインし、今後生じる様々な課題に創造的に立ち向かうこと」を目的に、その仕組みやプロセス、手法を検討・構築します。

(2) アイデアソンの開催概要

○日時：平成26年10月27日（月）13:00～18:00（午前中：現地フィールドワーク）

○場所：川崎市宮前区役所会議室

○テーマ：「A:出掛けたくなる、みんなで健康になる街」「B:地域資源の戦略的活用ができる街」

テーマA：高齢者等が活躍する場づくりや多世代交流を通じて、長寿なまちづくりを進める

テーマB：公共施設・インフラ等を地域の資源として効果的・効率的に活用し、まちの魅力を高めていく

(3) 内容の詳細、参加方法

本プロジェクトの委託先の慶應義塾大学のページまで

(http://www.keio.ac.jp/ja/press_release/2014/2014_01.html)

(※1) 位置や時間に関連する情報を「地理空間情報（G空間情報）」と呼びます。地理空間情報をオープンデータとして整備、公開することで、まちづくりや防災等への幅広い利活用が見込まれています。

(※2) アイデアソンとは、特定のテーマについてチームごとにアイデアを出し合う参加型のイベントです。ハッカソンはIT技術者等が特定のテーマに沿ってアプリケーションやサービスを開発するイベントです。マーケソンはマーケティングとマラソンを合わせた、本事業オリジナルの造語です。ハッカソンで生み出されたアプリケーションの実用化に向けたマーケティングや普及方策の検討等を行います。

〔問い合わせ先〕

国土交通省国土政策局国土情報課 妹尾（せのお）、小野寺

代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8353

（内線29846、29863）

FAX 03-5253-1569